

# 岩倉市指定文化財及び主要遺跡一覧表

岩倉市指定文化財一覧表

番号	種別	名 称
1	有形	下 本 町 山 車
2	有形	大 上 市 場 山 車
3	有形	中 本 町 山 車
4	彫刻	円 空 作 観 音 立 像
5	書跡	柿 経
6	書跡	紺紙金字妙法蓮華経巻第六
7	工芸	鰐 口
8	考古	西 出 古 墳 出 土 品
9	考古	丹 彩 台 付 壺 形 土 器
10	建造	鳥 居 建 民 家
11	考古	古 市 場 遺 跡 出 土 須 恵 器
12	史跡	岩 倉 城 跡
13	史跡	山 内 一 豊 誕 生 地
14	史跡	井 上 城 跡
15	史跡	新 溝 古 墳
16	史跡	織 田 伊 勢 守 信 安 夫 妻 墓
17	有形	鈴 井 町 獅 子 館
18	史跡	大 地 遺 跡（ 県 指 定 ）

岩倉市内主要遺跡一覧表

記号	遺跡名	時 代
A	八 剣 遺 跡	縄文～古墳
B	七 面 山 古 墳	古 墳
C	西 広 畑 遺 跡	弥 生
D	梅 ノ 木 遺 跡	古 墳
E	古 市 場 遺 跡	古 墳
F	東 町 畑 遺 跡	弥 生
G	西 北 出 遺 跡	縄文～古墳
H	ノ ン ベ 遺 跡	縄文～古墳
I	曾 野 遺 跡	弥生～平安
J	神 清 院 古 墳	古 墳
K	御 土 井 廃 寺 跡	弥生～室町
L	薬 師 堂 廃 寺 跡	弥生～鎌倉
M	西 出 古 墳	古 墳
N	小 森 遺 跡	弥生～室町
O	下 田 南 遺 跡	古墳～中世

※いろいろな遺跡から、発見された土器や、民俗資料などが  
岩倉市図書館3階郷土資料室・くすのきの家2階展示室に展示してありますので、ご覧ください。

## ●公園では次のことをしないでください。

- 犬・猫などのペットを連れてくること
- 花火・たき火・たばこなど、火をつかうこと
- 自転車・オートバイなどを乗り入れること
- 空カン・ペットボトルなどのごみを捨てること
- 木を折ったり、植物を採ったりすること
- 池や川に、石・砂・ごみなどを入れること
- 施設などを壊したり、汚したりすること
- 他の利用者や近隣に迷惑となること

### ■岩倉市史跡公園

岩倉市大地町野合 51 番地

### ■岩倉市教育委員会 生涯学習課

岩倉市栄町一丁目 66 番地  
TEL (0587) 38-5819  
FAX (0587) 66-6380



岩倉市公式 HP

# 岩倉市史跡公園



## 岩倉市教育委員会



## 愛知県指定史跡

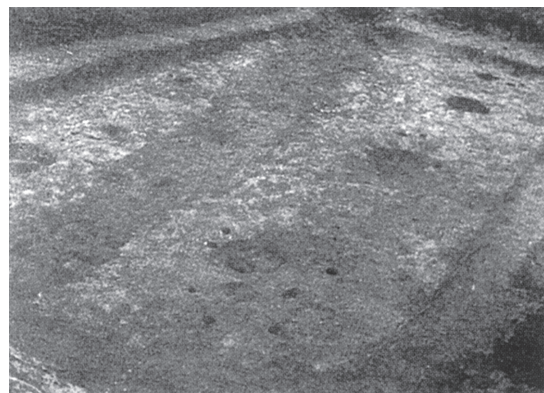
# 大地遺跡

(昭和 29 年 3 月 12 日指定)

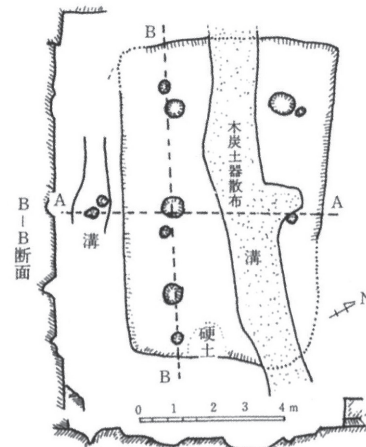
大地遺跡は、木曽川がつくった自然堤防上に位置し、尾張平野の弥生文化を明らかにしていく上で非常に重要な遺跡です。

昭和 26 年の発掘調査で、竪穴住居址が発見され、床面から弥生時代中期ごろの土器片や大地式土器と同じような土器片も見られました。その他この遺跡から縄文時代後期や弥生時代中期・後期の土器も出土しています。

市内で見ついている多くの遺跡は、このような自然堤防上にあり、大地遺跡以外の遺跡として、ノンベ遺跡、曽野遺跡、町畑遺跡、下田南遺跡などがあります。



竪穴住居址（昭和 26 年発掘当時）



竪穴住居址実測図

## 竪穴住居址

昭和 26 年の発掘調査で、地表より約 1m 下にある東西の幅約 7m、南北の幅約 4m の竪穴住居址が発見されました。

この竪穴住居址は四隅がやや丸くなった長方形をしたもので、普通の竪穴住居は主柱が 4 本であるのに対して、この竪穴住居は主柱のあとが 3 本ずつ 2 列に並んで計 6 本あり、これを小さい支柱が支えていたようで、内部が二つに分かれているところに特徴があります。

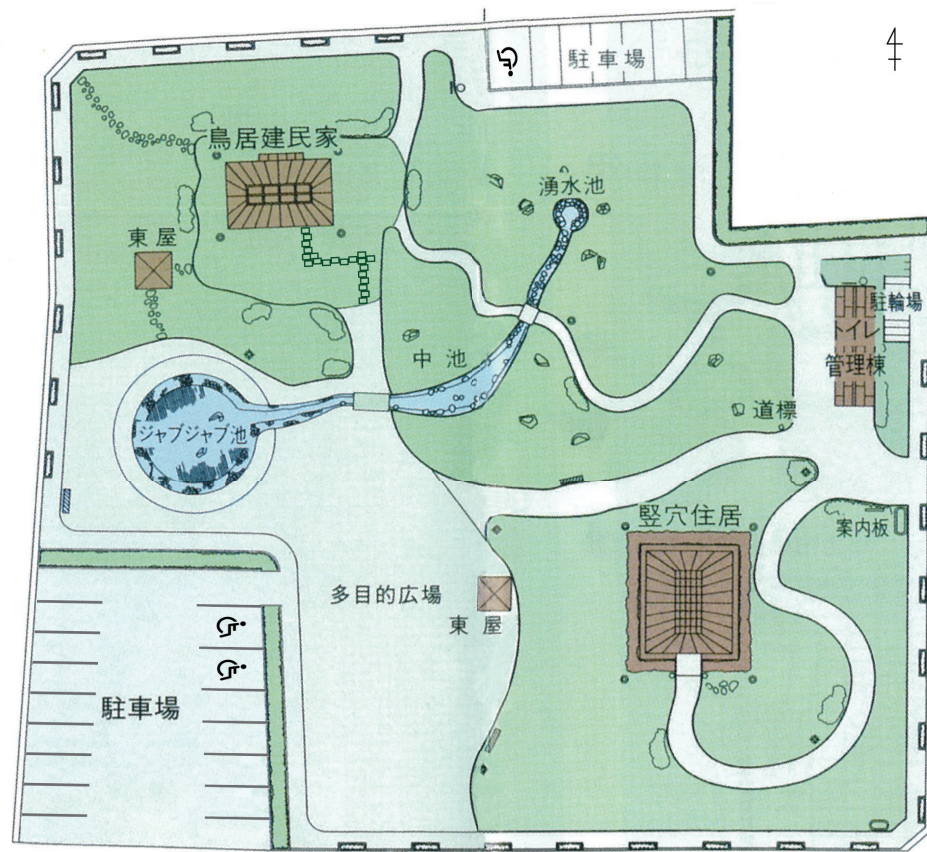


縄文ノンベ遺跡（水野本光氏・画）



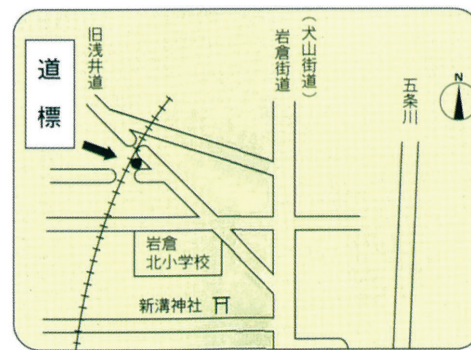
竪穴住居

## 岩倉市史跡公園平面図



## 旧北廻間道標

この道標は、旧浅井道から鈴井、一宮方面への分岐点（岩倉北小学校から北方向へ約 100m の位置）に立っていたものです。



道標の立っていた場所

書かれている文字  
左一ノみや道  
右あざい道

旧北廻間道標



## 岩倉市指定有形文化財

# 鳥居建民家

(昭和 60 年 3 月 4 日指定)

この民家は、東町の石黒泰一さんの母屋で江戸時代中期ごろに建てられたと伝えられています。

ここに移される前は、わらぶきの平屋建入母屋造、軒は瓦ぶきという普通の農家でした。内部は建築当初のままで、ほとんど手を加えたあとがなく、家屋の構造から見て遠く室町時代における農家の型式をそのまま残しているたいへん貴重な建物です。

「鳥居建て」とは、主柱が 2 本ありますが、この柱に梁が掛けてあり、その下にツナギが 1 本横渡しになっており、この形が神社の鳥居に似ていることからいわれています。またこの地方ではヨツダテともよばれています。



弥生曽野遺跡（水野本光氏・画）



弥生式壺形土器  
(名古屋市博物館蔵)

## 愛知県指定有形文化財

# 弥生式壺形土器

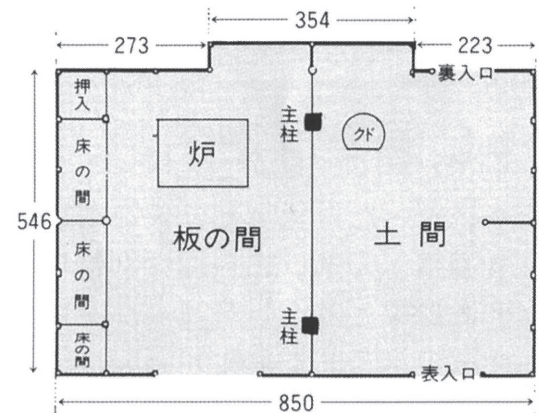
(広口壺・大地式土器)(昭和 45 年 9 月 28 日指定)

昭和 22 年に大地集落の畑から壺形土器が発見され、全国的に大変注目を浴びました。この波状口縁の壺形土器は、昭和 26 年に行われた発掘調査で、弥生時代中期ごろに属する土器で尾張平野北部を中心に広がっていることがわかりました。

またこの土器は、東日本の縄文土器の模様をとりながら弥生時代の形をもつことから、東西の文化がとけ合っていることを示しており、この土器群は大地遺跡の名をとって大地式土器とよばれるようになりました。



鳥居建民家



鳥居建民家平面図